

非認知能力の育成のための「朝の会」の在り方

なぜ、「朝の会」の充実が非認知能力の育成につながるのでしょうか？その問いに対して、本校の考え方を明確にし、非認知能力の育成を目指す「朝の会」の在り方を考え、職員での議論の中で、さらに育成の絶好の機会として取り組んでいきます。

1. なぜ、「朝の会」の充実が非認知能力の育成につながるのか？

①【自己理解と感情の整理】

朝の会で一日の目標や気持ちを言語化し、自分の内面を理解し、感情を整える力を育てます。メタ認知やセルフコントロールを高め、落ち着いて学びに向かう姿勢をつくります。

②【他者理解と共感的対話】

仲間の話を聞き、共感したり意見を交換したりすることで、他者信頼や共感性が育ちます。人間関係を円滑にする基盤として、協働性やコミュニケーション力が磨かれます。

③【意欲と探求の姿勢】

朝の会での共有や発表は、自己表現の場として意欲を引き出し、探求心や創造性を刺激します。自分の考えを発信する経験が、学習への前向きな姿勢を生み出します。

朝の会は、安心して自分を表現できる場であり、他者の考えを尊重する姿勢を育てます。仲間とのやり取りを通して、思いやりや協働性が自然に育ち、社会性の基盤となる非認知能力が日常の中で磨かれていきます。

1【前期ブロック（幼稚園年中～小学4年）】

(1)ねらい

- 安心して自分の気持ちを表現し、友達との関わりの中で思いやりや共感を育む。
- 毎日の振り返りを通して、自分の成長を感じ、学ぶ意欲を高める。

(2)具体的な活動内容

- 「今日の気持ちカード」共有（感情を言葉や色で表すことで自己理解、共感性を養う）
- 「ありがとうリレー」（仲間の良さを伝えることで、自己肯定感と他者信頼を深める）
- 「昨日のがんばり発表」（小さな成功体験を共有し、メタ認知の芽生えを支える）
- 「今月のめあてポスター」づくり（達成に向けたセルフコントロールの基礎を形成）
- 「みんなで歌う・体を動かす朝」（活動する喜びを通して協働性と情緒の安定を育む）
- 「友達インタビュー」（相手の話を聴き取って紹介し、思いやりと傾聴力を伸ばす）

(3)目指す児童生徒像との関連

- ターゲット⇒（ご）ご縁を大切にし、仲間や地域を思い、共働できる児童生徒
- 共感性～他者の気持ちを想像し、思いやる態度が芽生える。
- 協働性～一緒に考え行動する経験が、集団生活の基礎を築く。

○コミュニケーション能力～相互理解のやりとりが、人と関わる力の土台をつくる。

2【中期ブロック（小学5年～中学1年）】

(1)ねらい

○自分の意見を根拠をもって伝え、仲間と考えを深め合う態度を育てる。

○1日の見通しをもち、自ら課題意識をもって行動できるようにする。

(2)具体的な活動内容

○「1分間スピーチ」（自分の考えを整理し発表することで、思考力と表現力を育てる）

○「めあてとふりかえりノート」（自己の行動を可視化し、メタ認知と自己調整を促す）

○「学級討論」（意見をぶつけ合う中で、多様な価値観を尊重する力を育む）

○「良かったこと・課題共有ボード」（クラスで課題を共有し、協働的改善力を伸ばす）

○「週替わり司会チーム」（責任をもって進行し、リーダーシップとセルフコントロールを培う）

○「探求クイズ・豆知識発表」（好奇心を刺激し、学び続ける意欲と創造性を養う）

(3)目指す児童生徒像との関連

ターゲット⇒（た）探求心を胸に、知識を深めて考え抜く児童生徒

○意欲～ 自分の関心を基に行動する楽しさを感じ、学びに前向きになる。

○創造性～ 多様な視点で考え、課題に柔軟に対応する力が育つ。

○探求心～ 問いをもち、深く考える姿勢が学びの自立性を高める。

❖【後期ブロック（中学2～3年）】

(1)ねらい

○自らの価値観や行動を見つめ直し、社会や地域とつながる意識を高める。

○自己の課題を自覚し、挑戦と失敗を通してしなやかに成長する力を育む。

(2)具体的な活動内容

○「ニュース対話」（社会的テーマに意見を述べ、論理的思考と社会意識を高める）

○「週目標と自己評価」（ふり返りを習慣化し、メタ認知と自己肯定感を強化する）

○「仲間メッセージデイ」（仲間の努力を称えることで、信頼関係とレジリエンスを養う）

○「モーニングディベート」（根拠をもって主張し、思考の柔軟性と創造力を高める）

○「ボランティア活動報告」（地域との関わりを意識し、社会貢献と規範意識を育てる）

○「失敗から学んだこと共有」（挑戦や失敗を受け入れ、再起する力を高める）

(3)目指す児童生徒像との関連

ターゲット⇒（き）記録と思考を重ね、振り返りを通じて成長する児童生徒

○メタ認知～ 自分の思考や行動を客観的に見つめ、改善につなげる力。

○自己肯定感～ 努力や変化を自ら認め、前向きに挑戦し続ける土台。

○レジリエンス～ 困難に直面しても立ち直り、より良く進もうとする精神的強さ。